

第9回チャレンジセンターセミナーを開催しました



チャレンジセンターでは6月23日(土)に湘南キャンパス8号館で、第9回チャレンジセンターセミナーを開催しました。チームとして力が発揮できるプロジェクトマネジメントを学ぶことを目的に、ライトパワープロジェクトが中心となって企画したものです。当日は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)研究領域リーダーの山西伸宏氏(情報・計算工学センター)が「宇宙開発におけるイノベーションの創出」のテーマで講演。テレビ会議システムで札幌、旭川、高輪の各校舎にも中継され、約200名の学生や教職員が聴講しました。

JAXAで液体ロケットエンジンの数値解析や次期基幹ロケットH-3の研究開発に従事されている山西氏は、宇宙・航空開発事業の概略を紹介したほか、社会で求められているイノベーションの重要性について自らの実践例を交えて解説。「深い専門知識を持つだけでなく、異分野の人ともアイデアを出し合い連携できる人が新しい技術や価値を見いだすことができます。また、最高の目標を目指す情熱を持ったチーム作りも重要。メンバーには、チームのビジョンを優先させながら、各自ができる仕事に全力を尽くすことが求められます」と力説しました。

講演終了後には、学生から「モチベーションの異なるメンバーをどのようにまとめていけばいいか」「チーム全体のベストと個人の目標がずれてしまう場合は、どのようにすればいいのか」「最高を目指すためにはどのような方法があるか」など多くの質問が寄せられました。山西氏は具体例を指摘しながら丁寧に説明した後、「学生時代は試行錯誤しながら、自分のスキルやモチベーションを向上させる方法を見つけてください。失敗を恐れずにビジョンを持って常に努力する以外に、成功への道はありません」と学生を激励しました。

セミナーの企画に携わった学生は「興味深い知識や経験を知る貴重な機会になりました。学生それぞれが、参考にできることがたくさんあったと思います。この講演を大きな糧にして、今後の活動に生かしていきたい」と感想を語りました。

